

冬の楽しみ？

はじめまして、ポリテクセンター埼玉の大石さんからご紹介いただきました東です。「次、引き受けてくれない？」と電話から聞こえた言葉にわが耳を疑いつつも、昔から助けてもらってばかりの身としては「お断りします」と言えるわけもなく、こうして原稿を書くこととなりました。



さて内容についてですが、きっと大石さんのこと、堅い話をしていると思います。なので私は現在の勤務地である青森での冬の過ごし方などを少し紹介させていただこうと思います。

青森赴任後の私を見て久しぶりに会う友達が必ず言う言葉があります。それは「おまえ、元気になったなあ」です。そう、私は体があまり丈夫でなく、みんなから助けられまくりの毎日だった、いや過去形でなく今でも助けられています、のですが、青森に来てからいろいろ鍛えられたのです。それは空気が美味しいとか環境がいいとかいろいろありますが、否応ない運動と温泉三昧がまずあげられるんじゃないかと思います。

運動とはすなわち雪かきです。青森の冬の寒さと雪は2月がピークになります。しかし11月も12月も1月も3月も雪は降ります。そして寒いです。時には4月も雪が降ったりもしますし、5月の桜祭りの時もコートが必要くらいです。雪が降って困るのは除雪です。車道は除雪車がやってくれますが、除雪車は基本的には雪を寄せていくことしかしません。だからそのままでは家の前に道路に積もった雪がうすたかく積まれたままになってしまいます。そのためまず玄関から道路に

出るための通路を作り、そしてその後に積まれた山を片づけていくということをしなければなりません。雪といっても車に踏み固められた雪はもう氷同然です。それが胸の高さまで積み上げられたときの重量をぜひ想像してみてください。朝起きて積もっている雪をかき、そして夜家に帰ってきたらまた昼間積もった雪をかき、それが冬の間の日課になります。おかげで出勤する前にもう1日分のエネルギーを使い切ってしまったんじゃないか？なんて思ってしまうことも何度あったことか。

しかしそんな疲れた体を癒してくれるのが温泉です。青森は有名な温泉もたくさんありますが、実はそれ以上に小さな温泉が数多くあります。日帰り温泉が可能な所だけでも数え切れないくらいの温泉天国なのです。見た目はごくごく普通の銭湯のような所から波打ち際や川沿いの露天風呂まで、雪を見ながらの温泉は筋肉痛やストレスまで癒してくれます。雪の青森で妙に薄着な入浴セットを持って歩いている人を見たら、きっとその人も温泉帰りだと考えて間違いありません。

訪ねてきてくれる友人は決まって夏にやってきますが、ぜひ一度、冬の青森に来てみてください。春の桜、夏のねぶたとはまた違った楽しみが味わえるんじゃないかなんて思います。



次のリレートークはポリテクカレッジ新潟の赤羽さんをお願いしたいと思います。赤羽さんにも昔から助けてもらってばかりなんです、ここはぜひもう一度助けると思ってよろしくお願いします。